

実績概要報告書

自治体版SDGs評価ツールの 開発に向けた共同研究

日本工営株式会社

世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

背景・目的

『SDGsアクションプラン』や『まち・ひと・しごと創生総合戦略』においてSDGsを原動力とした地方創生が掲げられ、地方自治体はSDGs推進への対応が求められている。他方SDGsという“ものさし”を用いた各種取り組み・事業の評価・進捗管理、ステークホルダーの理解促進、自身の課題・優位性や他自治体の取組状況の把握等、地方自治体が抱える課題は多岐に渡る。本共同研究では、上記課題解決に向けた実践ツールとして、自治体が活用できるSDGs診断ツールを開発することを目的とする。

実施内容

SDGs取り組み診断ツールの共同開発：つくば市との協議を通じて自治体が直面するSDGsの取り組みにかかる課題やニーズを把握・整理した。また、同市からのツールコンセプト・評価方法等に係るインプットを踏まえ、SDGs診断ツール『TSUMUGI@』の試行版を開発した。

実証実験を通じた評価ツールの改良：開発した『TSUMUGI@』の試行版を活用してつくば市役所内で実証実験を行い、『TSUMUGI@』の有効性や実用性の検証・改良方法を検討した。

実施期間

2021年6月16日～2022年5月30日

場所

つくば市役所

市の支援内容

- ・政策イノベーション部持続可能都市戦略室による有効性の高いツール開発に向けたインプット及び助言
- ・つくば市役所内の関係部署による実証実験・ヒアリングへの協力



本共同研究の一環で実施した17のゴールデザインコンテストの入賞作品

実験結果

共同研究を通じて、自治体のSDGsに係る取り組みを診断・見える化するツール『TSUMUGI@』を開発した。『TSUMUGI@』はSDGsの取り組み状況を簡単に診断できるオンラインアプリケーションで、自治体の各担当職員がWeb上で設問に回答すると、自治体のSDGs推進に向けた取り組み体制や進捗状況を診断し、チャートやスコアで結果を可視化する、セルフアセスメントの機能をもつ。2022年2～3月にかけてつくば市役所内の関係部署（計54部署）の協力のもと試行版の実証実験を実施し、実用性の検証及び改良点の整理を行った。

【TSUMUGI@の特徴】

- ◆ SDGs推進に係る実施体制や17の各ゴールの達成に向けた進捗状況について簡単な診断・可視化が可能
- ◆ 17ゴール別や各担当部署別に取り組み状況を一元管理、経年的な変化が把握可能
- ◆ SDGsの取り組み状況を分かりやすいチャートやスコアで可視化



社会実装に向けた課題等

つくば市役所内での『TSUMUGI@』の試行版による実証実験を通じて、より客観的な診断を可能とするための設問及び回答選択肢の工夫、経年的なモニタリング機能の追加、他自治体との比較の可能性等に関する課題が確認され、改修方法の検討を行った。試行版を改良したβ版ツールについては、着実な社会実装のために、今後日本全国の他の自治体で実証実験を行い、検証と改良を重ね、本格版としての運用を目指す。



市からのコメント（担当部署）

SDGs評価ツール『TSUMUGI@』は、SDGsの取組状況をわかりやすいチャートやスコアで可視化し、事業立案や情報発信等にも有効であるため、多くの自治体で活用が見込まれる。

令和3年度つくば市未来共創プロジェクト